

高校・特別支援学校総会並びに講演会

部会長 井 上 薫

平成 27 年度の高校・特別支援学校部会総会は、平成 27 年 8 月 22 日(土)に、ホテルグランドパレス徳島にて、涓水会本部から石井博会長様をはじめ、秋山賢治副会長様、毛利久康理事長様、大井美弥子事務局長様、総合科学部から平井松午学部長様のご臨席を賜るとともに、顧問の方々、高校・特別支援学校会員の皆様のご出席のもと盛大に開催をしました。

総会では、平成 26 年度の会務報告・決算報告の後、平成 27 年度の役員選出、会務計画・予算案についての審議を行いました。会務報告・決算報告・会務計画・予算案については、事務局提案のとおり承認されました。

平成 27 年度の役員については、現職の校長が副会長に、現職の副校長・教頭が監事に、退職された校長先生方を顧問に就任していただくことで了承されました。また、今回の総会において次期部会長として、鴨島支援学校の林博子校長先生を選出し、林校長先生からご快諾いただきました。その後、出席者全員で写真撮影し、和やかな雰囲気の中で総会を閉じました。



講演会では、徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部の久田旭彦先生を講師にお招きし、「知恵のものさしと心のコンパス」～メートル法にみる科学と社会のつきあい方～をテーマに、ご講演をいただきました。

久田先生のご専門は物理学ですが、徳島大学の前任は日本科学未来館で科学コミュニケーターをなされていました。本講演会では、科学コミュニケーターの経験から講義型の講演ではなく、最近文部科学省の方で新学習指導要領改訂のキーワードとなっている“アクティブ・ラーニング”の手法によるワークショップ形式でのご講演をいただきました。

特に、単位については国によって異なるものが

あり、全ての人にとって公平な単位を作る必要から国際単位系が用いられるようになったそうです。その国際単位系では、長さの単位としてメートル(m)、重さの単位が(kg)、時間の単位は秒(s)が用いられ、詳細に定義されているそうです。

講演では、“伝えること”の正確さについてのワークショップや、単位をめぐる様々な問題から長さや重さの単位を決めることの意義とともに、学生のレポートや火星探査機の事故から単位の決定には「対話による相互理解」、つまり科学と社会とのつきあい方が重要であることを教えていただきました。

総会・講演会・懇親会

日 時 平成 27 年 8 月 22 日(土)

場 所 ホテル グランドパレス徳島

講演会 講師：久田 旭彦 氏

(徳島大学 大学院 ソシオ・アーツ・
アンド・サイエンス研究部 講師)

演題：「知恵のものさしと心のコンパス」
～メートル法にみる科学と社会
のつきあい方～

事務局 徳島市立高等学校



講師：久田 旭彦 先生

(部会長：昭和 54 年中学校教員養成課程卒)